

被災地の復興のための先端技術展開事業(農業・農村型研究)
「野菜・果樹機能性成分分析評価等実証研究」のうち
「高品質、低コスト果樹栽培技術の実証」の概要

これまでの知見

《近年得られた知見》

・ブドウ“シャインマスカット”などの高品質品種の省力栽培方法やラズベリー、レッドカーランツなど加工性に富む小果樹類の根域制限栽培が確立されてきている。



シャインマスカットの
短梢剪定



ラズベリーの根域制限栽培



レッドカーランツの試作ゼリー

現状と課題

被災地では、津波により栽培土壤に大量の海水が流入し、塩害発生の懸念。

灌水用の水や電源が未だに復旧していない農地が多い。

被災農家は収入が不安定で、雇用の場も少ない。



塩害を回避できる栽培技術、水利の悪い圃場でも水が供給できるシステム、
早期に収入が確保できる品目選定、長期的な雇用安定化などが求められている。

取り組む内容

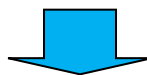
- 根域制限栽培の導入・結果年齢が早く
早期の収入確保が可能な品目導入
(ブドウ、キウイフルーツ、カーランツなど)
- 棚面からの点滴灌水(鳥獣害防止)、
根域制限栽培(塩害防止+樹勢制御)、
拍動ポンプによる灌水(非電化地域を
想定)を組み合わせた栽培技術実証



宮城県亘理郡山元町の実証圃場

実施状況

・被災地において、栽培適性を有する小果樹類等に着目した根域制限栽培技術の実証研究に着手。



期待される成果

根域制限栽培と雨水自動灌水システム技術とによる生産・収益の安定化
加工適性に富む果樹の導入により6次産業化を図り雇用の創出